



カラ、矢鱈ニ金ヲ出スカラト云ッテ、矢鱈ニ  
公營質屋ノ設備ヲ方々ニ作ルト云フ譯ニハ  
行キマセヌノデ、序ヲ逐フテ地方ノ公共團  
體若クハ公益法人ニ對シテ獎勵シ、之ニ對  
シテ補助ヲ與ヘテ、其公營質屋ノ營業ヲ營  
マシムル、而シテ段々進ンデ行キマシテ、其  
需要ニ應ジテ更ニ豫算ヲ増加シ其數ヲ殖ス  
ト云フコトニ進ンデ行キタイト思フテ居ル  
ノデアリマシテ、先づ第一取敢ヘズ十万圓  
ヲ以テ、僅カニ御說ノ通り十万圓ヲ以  
テ、設備ニ對スル補助金ヲスルコトニシタ  
ノデアリマス、要シマスルニ御說ノ公營質  
屋ノ改善カ急務デハナイカ、公營質屋ノ問  
題ヨリ其方ガ先づ第一著手デハナイカト云  
フ點ニ付テハ、政府ハ聊カ見ル所ガ違フ、是  
ハ取敢ヘズ免ニ角ニ公營質屋ノ現在ノ營業  
ハ満足ハセヌケレドモ、相當有志ノ保護ハ  
アリマスルガ、最下層階級ニ於ケル者ニ對  
シテ十分ナ設備カアリマセヌ、夫故ニ現在  
ヤツテ居ル所ノ公營質屋ノ上ニ尚ソノ足ラ  
ザルヲ補シテ、公營質屋ノ助成ヲ致シタイト  
云フノカ、政府が今回法案ヲ提案シ補助金  
ヲ要求シタ理由デアリマス

○川村竹治君 唯今政府委員ノ説明ニ依ル  
ト、公營質屋ヲ第一ニ改善カ急務デハナイ  
カト云フ私ノ質問ニ對シテ、政府ハ御所見  
ヲ異ニスルト云フ御話、元來質屋營業ヲ改  
善スルト云フコトハ、一般ノ下層社會ニ便  
利ヲ與ヘヤウ、金融ヲ圓滑ニシヤウト云フ  
コトガ趣意ニナシテ居ル、即チ社會政策ニ基  
イタモノデアリマス、社會政策ノ本義カラ  
云フト、多數ノ細民ニ取シテノ便利ヲ與ヘル  
ト云フヤウナ組織デナクテハイカヌト思  
ト思フ、僅カニ少シバカリノ公營質屋ヲ作  
タ所デ大シタ利益ハ無イ、一般ニ全國一万  
何千ト云フ質屋ヲ完成スレバ、ソレガ受ケ

ル所ノ利益ハ非常ニ多い、私ハ政府ノ所見  
ガ何處ニ在ルカト云フコトノ了解ニ苦ム、  
ソレハ併シ議論ト致シマセウ、唯今政府委  
員ノ説明ニ依ルト、公營質屋ニ依シテ利益ス  
ル者ハ極ク下層社會デ、一般ノ公營質屋ノ  
手ノ届カヌ所ヲ、之ニ依テ補フト云フヤウ  
ナ御説明デアリマス、然ルニ我輩ノ聞ク所  
ニ依ルト、實際ノ有様ハ之ト正反對デアル  
ヤウニ聞イテ居ル、例へバ横濱ノ公營質屋  
ノ如キ其取扱金額ハ非常ニ大キイ、一般ノ  
質屋ニ比ブレバ確カニ其額ガ大キイ、是ハ  
何故起ルカト云フト取扱人ハ事務ノ繁多ヲ  
厭フカ爲ニ、成ル可ク多額ノ質ヲ取ルト云  
フコトニ注意ヲ拂フ、斯ウ云フ傾向ガアル  
ト云フコトデアル、果シテ是ガ事實カドウ  
カ、私ハ詳細ナル調査ハシマセヌケレドモ、  
併ナガラ世間デ云フ所デハサウデアル、ド  
ウ云フコトデアル、果シテ是ガ事實カドウ  
イ、サウシテ普通一般ノ公營質屋ノ方ガ寧  
ロ低イト云フヤウナ傾向ガアルト云フコト  
ヲ聞イテ居リマス、サウスレバ政府ノ御提  
案ノ御趣旨ニモ反スルコトニナリ、爰、政府  
ノ所見モアルコトデアラウガ、私トシテハ  
此公營質屋法ニ對シテハ反對スルト云フ譯  
デハナイ、速カニ質屋取締法ヲ改正シテ今  
日ノ質置主が非常ニ不便ヲ感ジ不利ヲ感ジ  
テ居ル所ヲ除却シテ救濟シ、サウシテ一般  
ノ細民ニ金融ノ便宜ヲ與ヘラレムコトヲ、  
廣クヤツテ戴キタイト云フコトヲ望ンデ居  
ルモノぞ、此十万圓ト云ヘバ少額ト云フ御  
話デアリマスケレドモ、或ル意味カラ云ヘ  
バ大金デアリマシテ、モット徹底スルヤウ  
ニ廣ク之ヲ撤イテ貰ヒタイト云フ考デアル  
ノデアルガ、ニモ拘ラズ衆議院ニ於ケル質  
問應答ハ、二分ノ一ト云フコトデ十箇所ト  
云フコトヲ限度トシテ、ソレヨリ多く申出  
ガアッタラ必要ナルモノヲ十箇所選ンデヤ  
ルト云フヤウナ御答辯ガアッタヤウデアリ  
マス、私ハ斯ク窮屈ニ解釋セラレズニ、ドレ  
ダケデモ申出ガアッタラ十万圓以内ノオ金  
ヲバソレニ配シテ廣ク補助スル、斯ウ云フヤ  
ウニシテ行キタイト云フ考ヲ持テ居リマ  
スノデ御尋ネスルノデス

○政府委員(俵孫一君) 左様デゴザイマス  
○小林嘉平治君 私ハ一寸此衆議院ニ於ケ  
ル質問應答ノ様子ヲザント讀ンデ見タノデ  
アリマスガ、此二分ノ一ノ補助ト云フコト  
ガ、ドウモ此應答ノ様子デハ、二分ノ一ト云  
フコトデ大體括シテ居ラシヤウデアリ  
マシテ、此「以内」ト云フコトニハ、私ハ是  
ガサウ云フ趣意ニ反スル如キモノヲ取扱ヲ  
シテ居ルモノモアル、ソレハ絶無トハ申上  
ト云フコトノ御言葉モアリマシタガ、其理  
由ノ如何ハ問ヒマセウガ、其趣意ニ反スル  
貸付ヲスルカラト言ッテ、公營質屋ガ甚ダ其  
趣意ガ惡イト云フコトニハ當ラヌカト思ヒ  
マス、サウ云フコトハ御聞及ビガアルナラ  
バ、ソレハ出來ルダケ取締シテ、サウ云フコ  
トノナイヤウニ注意致スコトニ致シマス  
ガ、公營質屋ノ從來ノ貸付額ガ或ハ普通ノ  
質屋ヨリハ非常ニ多イト云フコトヲ一般的  
ノ御話ガアルトスルナラバ、事實ガ違ヒマ  
スルノデ、一般的ニハ矢張リ公營質屋ノ貸  
付平均一口四圓二十二錢、市營質屋ハ御承  
知ノ通リ一口七圓、是ハ平均七圓デスカラ  
無論最高ハ百圓モ二百圓モアリマセウガ、  
平均七圓、公營質屋ノ方ノ貸付ハ從来四圓  
ハナカニ、速カニ質屋取締法ヲ改正シテ今  
日ノ質置主が非常ニ不便ヲ感ジ不利ヲ感ジ  
テ居ル所ヲ除却シテ救濟シ、サウシテ一般  
ノ細民ニ金融ノ便宜ヲ與ヘラレムコトヲ、  
廣クヤツテ戴キタイト云フコトヲ望ンデ居  
ルモノぞ、此十万圓ト云ヘバ少額ト云フ御  
話デアリマスケレドモ、或ル意味カラ云ヘ  
バ大金デアリマシテ、モット徹底スルヤウ  
ニ廣ク之ヲ撤イテ貰ヒタイト云フ考デアル  
ノデアルガ、ニモ拘ラズ衆議院ニ於ケル質  
問應答ハ、二分ノ一ト云フコトデ十箇所ト  
云フコトヲ限度トシテ、ソレヨリ多く申出  
ガアッタラ必要ナルモノヲ十箇所選ンデヤ  
ルト云フヤウナ御答辯ガアッタヤウデアリ  
マス、私ハ斯ク窮屈ニ解釋セラレズニ、ドレ  
ダケデモ申出ガアッタラ十万圓以内ノオ金  
ヲバソレニ配シテ廣ク補助スル、斯ウ云フヤ  
ウニシテ行キタイト云フ考ヲ持テ居リマ  
スノデ御尋ネスルノデス

○政府委員(長岡隆一郎君) 衆議院ニ於キ  
マシテ、委員會ニ於キマシテ御答辯申上ゲマ  
シタノハ、若シ非常ニ澤山ノ補助ノ申請ガ  
出テ來夕時ニハドウスルカ、斯ウ云フ御質  
定ノナイノハ下層民ヲ目的トスル公營質  
屋ノ性質上ヨリ然ルモノト考ヘマスガ、左様  
豫想出來ナシ、初年度ニ於テサウ澤山ノ倉

庫ノ建設費ノ補助ノ申請ト云フモノハ出テ  
來マイガ、若シ非常ニ其質問者ノ御意見ノ  
如ク澤山出テ參リマシタ場合ニハ、其必要  
ノ有無ト云フコトヲ先ニシテ順序ヲ決メル  
ヨリ外ナニ、斯ウ云フヤウニ御答申上ダタ  
ノデアリマス、ソレデ是ハ申ス迄モナク初  
年度ニ於ケル設備ノ補助デアリマシテ、是  
ガ必ズジモ明年度ニ於テ出來ル質屋其モノ  
ノ總數デハナイト云フコトハ、是ハ此前ノ  
委員會デ小林サンニ私ハ申上ダマシタ、詰  
リ農村等ニ於テ火災ノ惧レノナイ時ニハ必  
ズシモ鐵筋「コンクリート」ノ倉庫ヲ造ラナ  
ケレバナラヌト云フコトハナインデ、ソレ  
ハ倉庫ノ設備ガナクトモ低利資金ヲ融通シ  
テ運轉資金ニ貸付ケル、此數ヲ合セマスレ  
バ無論初年度ニ於テ十以上ニ上リマセウ、  
倉庫ナシノ質屋開業ハ初年度ニ於テモ十箇  
所以上ニハ上リマセウガ、初年度ニ於テ倉  
庫ヲ造ラテ國庫ニ補助ヲ申請スルト云フコ  
トハ、先づ我ニ局ニ當ル者ノ見込ミデハ十  
箇所位デアラウト云フ見込ミナノデアリマ  
ス、或ハ是ハ多少増減ガアルカモ存ジマセ  
ヌガ、併ナガラ只今小林サンノ御豫想ノ如  
ク澤山出テ來タト云フ場合ニハ一箇所ダケ  
半額ノ補助ヲヤル、後ノモノハ之ヲ補助セ  
ヌトカ、或ハ之ヲ來年度ニ於テヤラセルト  
云フコトヲスルノガ宜イカ、若クハ其耕地  
整理等ノ遣り方ノヤウニ法律ニハ何分ノ一  
以内ト云フコトハアツテモ、申請者ガ非常ニ  
多ケレバ平均ハ非常ニ下ル、二分ノ一以上  
カ或ハ申請者ガ非常ニ多ケレバ是ガ三分ノ  
一二ナリ四分ノ一二ナルト云フヤウニシ  
テ、廣々均霑サセル方が宜イカ、是ハ餘程考  
慮ヲ要スル問題ダラウト思ヒマス、私ハ自  
像ニナリマシタヤウニ澤山ノ補助ノ申請ガ

殺到シテ參ルト云フコトハ想像イタシマセ  
又カラ、其コトハ非常ニ深イ考ヲ持テ申シ  
タノデヤゴザイマセヌノデス、若シ萬一只  
今御想像ノヤウニ澤山ノ補助ヲ申請シテ來  
ル、而シテ補助ノ總額ハ十万圓ニ限ラレテ  
居ルト云フ場合ニ、只今申上ダマシタツ  
ノ方法ノ中、何レヲ取ルカト云フコトハ是  
ハ法律若クハ命令等ニ限定セラレタ問題デ  
アリマセヌノデ、所謂行政ノ方針ノ問題デ  
ゴザイマスカラ、其利害關係ニ付キマシテ  
ハ御意見ノアル所ヲ參酌イタシマシテ、篤  
ト研究イタスコトニ致シタイト考ヘテ居リ  
マス

ノ問題許りデハアリマセヌガ、ドウ云フ風ニ才考ヘニナッテ居リマスカ、一ツ長官ノ御考ヲ承リタイノデアリマス  
○政府委員(長岡隆一郎君) 市町村ノ社會事業ニ付テ、金錢ノ補助ヲ與ヘルト云フコトノミガ獎勵ノ方法デハアルマイト云フコトノ御尋ネデゴザイマスガ、ソレハ寛ニ御尤モデ、金錢ノ補助ヲ與ヘマセンデモ他ニ獎勵ノ方法ハ無論ゴザイマセウ、併シ御承知ノ通り市町村ノ財政狀態ト云フモノハ私カラ申上ダル迄モナク隨分窮迫シテ居リマスルノデ、ナカ〜此社會事業ト云フヤウナコトノ必要ヲ痛感イタシテ居リマシテモ、經費其他ノ關係カラナカ〜普及イタシマセヌノデ、殊ニ我ミノ最モ希望イタシテ居リマスル農村ノ社會事業ト云フヤウナコトガ非常ニ都會ニ比シテ遅レテ居ル、若シクハ力ガ入ダテ居ナイト云フコトヲ考ヘルノデゴザイマスガ、之ニ付キマシテハ無論之ニ對スル輿論ノ力ナリ、或ハ町村當局者、議決機關等ノ考ヘガマダ其處マデ至ダテ居ラヌト云フコトモゴザイマセウガ、矢張リ一つノ難關ハ町村ノ財政難ト云フコトガ一ツノ原因ニナシテ居ルト思フノデス、從來ノヤリ來リマシタノデ、例ヘバ職業紹介法ニ依リテ初年度ニ於テ二分ノ一ノ經費ヲ補助シ、或ハ二年度以降ニ於テ六分ノ一以内ヲ補助スルトカ、或ハ地方ノ感化院ニ對シテモ同ジヤウナ方法ヲ執リ、其他櫻豫防法ニ致シマシテモ、肺結核ノ豫防ニ致シマシテモ、ドウモ此國ガ市町村若クハ府縣ノ經費ニ對シテ補助フルト云フコトハ、只今マデ残念ナガラ是等ノ仕事ノ獎勵ノ端緒ニ相致シマシテモ、肺結核ノ豫防ニ致シマシテマシテ獎勵ノ方法ヲ講ジマシテモ、矢張リナツテ居ルノデアリマス、我ミハ口ヲ潤ラシガナカ〜普及イタサナイヤウナ狀態ニアリマス

リマス、ノミナラズ特ニ此公益質屋ニ付キ  
マシデハ此前ニ私カラ率直ニ申上ダマシタ  
ヤウニ、此仕事ニ付テ相當妨害ヲ致シ、反  
對ヲ致ス傾向モ地方ニ依リマシテハアルノ  
デス、ナカニ此財的援助ト云フコトヲ全  
然除外イタシマスルト云フト、公益質屋ト  
云フモノハ餘程遅レヤセヌカト云フコトヲ  
心配シテ居リマスルカラ、僅カデハゴザイマ  
スルガ補助費ヲ出シマスルノデアリマス  
○小林嘉平治君 御尤モノヤウニ考ヘラビ  
マスルガ、今マデノ財的援助ナルモノガモシ  
ト普遍的ニ行クノナラバ國ノ力デ出來ルノ  
ナラバ、私ハサウ云フコトヲ申上ダセヌ  
ノデアリマスケレドモ、是ハ餘リ多ク望ム  
コトハ將來モ出來マイト思フノデアリマシ  
テ、或ル意味カラ申シマスト、茲ニ僅カノ  
部分ノ少シノ援助ヲスルト云フコトハ、他  
ノ多クノ部分ニ現ニ計畫ヲ立て居ラテモ、  
其補助ガ貰へヌト云フコトノ爲ニ、其計畫  
ヲ後ラカシタリスルト云フコトハ、事實ア  
ルノデアリマシテ、啻ニ後ラカシタリスル  
バカリデナク、遂ニ成立セヌト云フコトハ  
事實ノ上ニ澤山アルノデアリマシテ、殊ニ  
全國ニ於キマシテ僅カニ十箇所位ノ計畫ヲ  
御立テニナルト云フコトハ、或ル意味カラ  
言フト公益質屋ノ發達ヲ妨ダハシナイカト  
云フ、極端ニ言フト、感ジヨ持ツノデアリ  
マス、先刻產業組合ノ發達ノコトヲ申上ダ  
マシタガ、產業組合ナンカハ唯其營業稅ナ  
リ諸稅ヲ免除スルト云フコトダケデ、是ダ  
ケノ發達ヲシテ參リマシタノデアリマシ  
テ、此實例ニ鑑ミマシテモ、私ハサウ云フモ  
ニ御伺ヒシタイコトハ、私ハ此間モ申上ダ  
益質屋ノ發達ノ上ニ大ニニ必要ナルコトデ  
ハナカラウカトスウ思フノデアリマス、次  
點ニ大ニニ考慮ヲ下サルト云フコトハ、公

體ニスルト云フコトハ誠ニ適當ナコトデ、  
私ハ市町村ナンカヨリハ寧ロ仕事トシテハ  
似ツカハシイ仕事デハナカラウカ知ラヌ  
ト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、此間ノ  
長官ノ御答デハ產業組合ハ組合員ノミデア  
ルト云フ御話デアリマシタケレドモ、決シ  
テサウデハナイノデ、現ニ市街地ノ信用組  
合ナンカハ、組合員以外ノ貯金ヲモ扱ウテ  
居ツテ、普通銀行ト對抗シテ居ルト云フヤウ  
ナ今日ノ實際ノ狀態デアリマスカラ、今日  
ノ產業組合ナルモノハ、斯ウ窮窟ニ解釋ナ  
サルニハ及バヌノデアリマシテ、其組合ノ  
謂ユル區域内ニ於ケル居住者ノ質屋トシテ  
ノ便益ヲ扱フト云フヤウナコトハ、大變似ツ  
カハシイ仕事デアリハシナイカト、斯ウ實  
ハ思フノデアリマス、ソレカラ又斯ウ云フ  
緒ガ開クマスト云フト、信用組合ニ於キマ  
シテモ、マア大體信用ヲ基礎トシテ貸出し  
スルモノデアリマスルノデ、存外細民階級  
ノ利用シ得ルヤウナ場合ガアリマスシ、品  
物ヲ擔保ニスルト云フヤウナ途モ茲ニ開カ  
レルコトニモナリマスルシ、大變私ハ產業  
組合ニ之ヲ經營サセルト云フコトハ、最モ  
適當ナコトデハアリハシナイカト云フコト  
ヲ、痛切ニ感ジテ居ルノデアリマス、今頃  
此處デ改メヤウト云フ迄ノ考ヲ持ッテハ居リ  
マセヌケレドモ、其點ニ付キマシテ長官ノ  
御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

又カラ、此法案が成立シ豫算ガ兩院ヲ通過  
イタシマシテモ、市町村ト致シマシテハ、  
若シ希望ガアレバ追加豫算ヲ組ムト云フ段  
取りニナリマスノデ、私ハ初年度ニ於テハ  
率直ニ申上ダレバ十ヶ所出テ來レバ宜イガ  
ト云フ位ノ懸念ヲ持ッテ居リマスルノデ、  
ソレデ豫算ニ於テモ是ハ繰越シ明許ト云フ  
ヤウナ途ヲ開クコトニ御願ヒシテアル次第  
ナンデゴザイマス、併シ唯今小林サンノ御  
見込ノ如ク是ガ非常ニ増加スル、數十ヶ所  
モ出テ來テ豫算ノ經理ガ迫モ是デハイカ又  
ト云フコトデアリマスレバ、是ハ將來財政  
ノ都合上私カラ御約束スルコトハ出來マセ  
ヌケレドモ、唯今ノ御見込ミノヤウニ非常  
ニ此補助ノ申請ガ増加イタシマスレバ、何  
時迄モ此十万圓ト云フコトヲ固執スルト云  
フコトハ、是ハ出來難イコトダラウト思ヒ  
マス、無論是ハ大藏當局ノ了解ヲ得タ上デ  
ナイトハッキリ申上ゲルコトハ出來マセヌ  
ケレドモ、併シ數十ヶ所ノ或ハ百ヶ所モ出  
テ來ルノニ、毎年十万圓ノ豫算ヲ計上スル  
ト云フヤウナコトハ、是ハチヨット實情ニ  
適シナイト思ヒマスカラ、私共ト致シマシ  
テハ、唯今御見込ミノ通り申請ガ増加イタ  
シマスレバ、豫算ノ増加ト云フコトニ付テ  
ハ、相當内務省トシテハ、努力イタサナケ  
レバナラヌト考ヘテ居リマス、ソレカラ第  
二ノ産業組合ヲシテ公益質屋の仕事ヲ行  
ハセル方が宜イデハナイカ、是ハ誠ニ御尤  
モノヤウニ考ヘマス、私實ハ産業組合法三  
對スル研究ガ甚ダ未熟デアリマスル爲ニ、  
實際實地ヲ御承知ニナッテ居ル小林サンノ  
ヤウニ……知識ガ不十分デアリマス、ソレ  
デ先日御質問ガアリマシテカラ後、實ハ寄  
り寄り相談ヲ致シテ見タノデアリマス、或  
ハ其結果過日私ガ未熟ノ考ヲ以テ御答ヘ申  
上ダマシタコトト、其後多少研究ノ結果今

日御答へ申上ダマルモノト、其間ニ多少齟齬ガアルカモ存ジマセヌ、ソレハ此前ニ申上ダ時ハ私ノ知識ガ未熟デアタノアルト云フコトヲ以テ、其矛盾ノ點ヲ御追窮ナイヤウニ御願ヒスルノデアリマスガ、唯今御詫ノヤウニ産業組合法ニ於テモ勅令ノ規定ニ依ツテ組合員以外ノ者ニ資金ヲ融通シ、或ハ貯金ヲ取扱フト云フ方法ガアルト云フコトハ、全ク御説ノ通りデアルサウデゴザイマス、從ヒマシテ産業組合ニ於テ公益質屋ヲ經營シヤウトスレバ、是ハ産業組合法ヲ改正イタシマスルカ、或ハ産業組合法ノ施行勅令ナリ施行省令ナリヲ改正スルノデアリマスルカ、其點モ私ハハッキリ致シマセヌガ、産業組合法自體ノ法制ノ改正ニ依ツテ公益質屋ヲ經營セシムルト云フコトハ、是ハ法制上出來得ルコトダサウデアリマス、從ヒマシテ是ハ産業組合法ノ改正ニ依ツテ若シ必要ガアレバ解決シ得ル問題デ、從ヒマシテ此方ト唯今御指摘ノ點トハ二本ニ分レテ、兩者其目的ヲ達シ得ルト云フコトガ出來得ル、從ヒマシテ産業組合ガ唯今御説ノ通りニ組合自身トシテ公益質屋ヲ經營スルト云フコトガ適當ダト云フコトガアリマスレバ、別箇ノ法制ト致シマシテ産業組合ニ關スル法令ノ改正ニ依ツテ二途ニ進ミ得ルベキコト考ヘマス、併ナガラ是ハ私ノ申シマスコトハ、是ハ内務省ノ主管シテ居ル法令デゴザイマスノデ、是レ以上突キ進ンデ御答ヘ申上ダテ又缺點ヲ御發見下サルヤウニナルト却テ恐縮イタシマスカ、此邊ニ止メテ置キマスガ、産業組合ニ於テ公益質屋ヲ經營スルト云フコトノ可否ニ付キマシテハ、是ハ御意見ヲ尊重イタシマ

シテ、篤ト所管官廳ト將來ニ於テ交渉イタ  
シマシテ、若シ其必要ガアリ、所管官廳ニ於  
テ産業組合法改正ノ必要ガアルト云フコト  
デアレバ、別箇ノ法制トシテ他日御審議ヲ  
リマス、御意見ハ十分尊重イタシマシテ交  
渉シテ見タイト考ヘテ居リマス  
○小林嘉平治君 唯今私ノ考ノアル所ヲ能  
ク御酌取り下サイマシテ、大變喜ンデ居ル  
ノ所管デハアリマセヌカラ、本日御約束的  
ニ御答ヘ申上ダルコトハ出來マセヌノデア  
リマス、御意見ハ十分尊重イタシマシテ交  
渉シテ見タイト考ヘテ居リマス  
マス、此利率ハ勿論一般ノ質屋ノ利率、又市  
場ノ利率ナンカヲ參照サレタコトハ云フ迄  
ノデアリマス、次ニ實際ノ經營トシマシテ  
是非御尋不シテ置キタイコトハ、利率ノ點  
デアリマスルガ、貸付利率ハ第五條ニ於キ  
マシテ一箇月ニ百分ノ一・二五ヲ超ユルコ  
トヲ得ズト云フコトニナシテ居ルノデアリ  
テモ公益事業デアリマスカラシテ、此事業  
モナイト思ヒマスガ、ソレト同時ニドウシ  
テモ基礎ニシテ御考ヘニナラヌケレバナラ  
ヌト私ハ思フテ居ルノデアリマスガ、此  
一・二五ト云フ利率ノ出々根據ト、及ビ其公  
益質屋ヲ經營スルニ付キマシテノ收支ノ計  
算ガ、既ニ出來ア居ル公營質屋ノ其御豫想  
ガ、ドンナ風ニナシテ居リマスカ、ソレヲチ  
ヨット伺シテ見タイノデアリマス  
○政府委員(長岡隆一郎君) 此公益質屋ノ  
貸付利率ニ付キマシテハ月百分ノ一・二五、  
即チ之ヲ年利ニ計算イタシマスト一割五分  
ニ相成リマス、殆ンド利息制限法一パイニ  
相成シテ居ル、是ハ此法案ノ要項ヲ金融制度  
調査會ニ付議イタシマシタ際ニ、元來社會  
五分ト云フコトハ高キニ失シハセヌカ、モッ  
ト利息ノ制限ヲ低クシタ方ガ宜カラウト云

フヤウナ御意見モ實ハ出タノデゴザイマス、所ガ併シ是ハ唯今ノ丁度御質問ノ御趣旨ノ中ニ想像出來マスルヤウニ、市町村ニ置キマスル時ニハ、市町村ガ年々非常ニ損失ヲ致サナケレバナラヌト、斯ウ云フコトニナリマスルト、市町村ニ於テハ折角社會事業ヲ行ハフトシテモ、法律ニ於テ利子ノ制限ヲ嚴シクサレタ爲メニ、公益質屋ノ如キハ危險デ追モ經營ガ出來ナイト云フコトニナシテ、却テ此利子ノ制限ガヤカマシイ爲ニ角ヲ矯メテ牛ヲ殺スト云フヤウナ結果ニ相成シテハナラヌ、從ヒマシテ此年一割五分ト云フコトヲ標準ニシテ置キマスルガ、市町村ノ經營其宜シキヲ得テ、寧口儲カルト云フ程デナクトモ年々多少ノ剩餘金ヲ生ズト云フ際ニハ、是ハ監督官廳ヲシマシテ多少ノ利子ヲ遞減セセルト云フコトハ出來ヤウカト存ジマス、茲ニ書イテアリマスノモ月「百分ノ一二五ヲ超ユルコトヲ得ズ」ト云フノデアリマシテ、損ヲシテモヤッテ見タク、若シクハ經營上手デモト低イ利子デモ經營出來ルト云フヤウナ際ニハ、進ンデ質問ノ要旨ニゴザイマシタ通り、此計算方解説デゴザイマス、サウ致シマシテ唯今御質問ノ要旨ニゴザイマシタ通り、此計算方法ノ経営ノ方法ハ如何ノ積リデアルカト云フ御質問デゴザイマシタガ、大體ニ於キマシテ、建設費ニ付キマシテハ半額ヲ國庫ガ補助イタシマシテ、其半額ハ市町村デ是支出しシナケレバナリマセヌ、是ハ市町村ノ財產トシテ殘リマスカラ、ソレダケハ持出シテモ宜カラウト思ヒマス、デ其後ノ運轉ニ付キマシテハ、大體一万圓ノ運轉資金ヲ以テ經營スル場合ト、二万圓ヲ以テ經營

スル場合ト、三万圓ヲ以テ經營スル場合ト、大體此三ツニ分ケテ計算イタシテ居リマスルが、此何レノ場合ニ於キマシテモ、國庫ヨリ四分八厘ノ低利資金ノ融通ヲ受ケマシテ、此人件費、物件費等ヲ差引キマシテ、而モ此一万圓ノ場合ニ於キマシテモ、二万圓ノ場合ニ於キマシテモ、三万圓ノ場合ニ於キマシテモ、約運轉資金ノ八十一パーセント」即チ八割ヲ常ニ運轉シ得ルモノト云フ豫想ノ下ニ計算イタシマスト、此年一割五分ノ利子ヲ以テ、而シテ國庫ヨリ借入レタ四分八厘ノ利子ヲ……貸付利子其他ノ收入ニ依リマシテ、公益質屋經營ノ爲メニ借入レマシタ運轉資金ノ元利ヲ償還シ得ル見込ノ計算ニ相成シテ居ル、而シテ之ヲ二十箇年ニ返済致シマシテ、元利ヲ償還イタシマスレバ、後ハ最早其資金ト云フモノハ別ニ生キテ參リマスカラ、其際ニハ經營ハモット樂ニナリマスカラ、低利資金ヲ償還イタシマスルヤウナ方法ガ執り得ルコトト考ヘマスシタ以後ニ於キマシテハ利子ヲモット低下スルヤウナ方法ガ執り得ルコトト考ヘマスシタハ矢張リ御役所風ニ總テ競争入札ト云フ○小林嘉平治君此第十一條ノ流質物ノ處分法ト云フコトハ、是ハ非常ニ質屋トシテハ關係ノ深イモノデアルト思ヒマスガ、是ハ矢張リ御役所風ニ總テ競争入札ト云フコトガ原則ニナシテ居ルヤウデアリマスガ、事實ニ於テ競争入札ト云フモノハ、此商人ガ何ト言ヒマスカラ……俗ニ云フ「ダンゴ」ニナシテハ競争入札ト云フコトガ如何ニモ正々云フコトデナシニ皆デ勉強シテ三十錢デ頂戴シテ行キマセウト云フヤウナコトガ實際多イノデゴザイマス、サウ云フヤウナ特別ノ事情ガゴザイマスカラ、法令上ニ於キマスルヨリモ非常ニ公明正大デアリマスケレドモ、唯今申上ダマシタヤウニ小口ノ雜品ヲ多量ニ販賣イタシマス時ニハ、競争入札ニ依シテハ到底目的ヲ達シマセヌガ故ニ、シバカリノ品物ニ對シテハサウ云フコトガラウト思ヒマスガ、所謂「特別ノ事情アル場合ハ」ト云フノハドウ云フ場合ヲ豫想シテデ次ノ但書……第二項ガ出來テ居ルノデヤテ之ヲ定ム」ト云フノハドウ云フ風ニ御定マス

スル場合ト、三万圓ヲ以テ經營スル場合ト、其邊ノコトヲ一應伺シテ置キタイノデアリマス、大體此三ツニ分ケテ計算イタシテ居リマスルが、此何レノ場合ニ於キマシテモ此一万圓ノ場合ニ於キマシテモ、國庫ノ場合ニ於キマシテモ、三万圓ノ場合ニ於キマシテモ、約運轉資金ノ八十一パーセント」即チ八割ヲ常ニ運轉シ得ルモノト云フ豫想ノ下ニ計算イタシマスト、此年一割五分ノ利子ヲ以テ、而シテ國庫ヨリ借入レタ四分八厘ノ利子ヲ……貸付利子其他ノ收入ニ依リマシテ、公益質屋經營ノ爲メニ借入レマシタ運轉資金ノ元利ヲ償還シ得ル見込ノ計算ニ相成シテ居ル、而シテ之ヲ二十箇年ニ返済致シマシテ、元利ヲ償還イタシマスレバ、後ハ最早其資金ト云フモノハ別ニ生キテ參リマスカラ、其際ニハ經營ハモット樂ニナリマスカラ、低利資金ヲ償還イタシマスルヤウナ方法ガ執り得ルコトト考ヘマスシタ以後ニ於キマシテハ利子ヲモット低下スルヤウナ方法ガ執り得ルコトト考ヘマスシタハ矢張リ御役所風ニ總テ競争入札ト云フコトガ原則ニナシテ居ルヤウデアリマスガ、事實ニ於テ競争入札ト云フモノハ、此商人ガ何ト言ヒマスカラ……俗ニ云フ「ダンゴ」ニナシテハ競争入札ト云フコトガ如何ニモ正々云フコトデナシニ皆デ勉強シテ三十錢デ頂戴シテ行キマセウト云フヤウナコトガ實際多イノデゴザイマス、サウ云フヤウナ特別ノ事情ガゴザイマスカラ、法令上ニ於キマスルヨリモ非常ニ公明正大デアリマスケレドモ、唯今申上ダマシタヤウニ小口ノ雜品ヲ多量ニ販賣イタシマス時ニハ、競争入札ニ依シテハ到底目的ヲ達シマセヌガ故ニ、シバカリノ品物ニ對シテハサウ云フコトガラウト思ヒマスガ、所謂「特別ノ事情アル場合ハ」ト云フノハドウ云フ場合ヲ豫想シテデ次ノ但書……第二項ガ出來テ居ルノデヤテ之ヲ定ム」ト云フノハドウ云フ風ニ御定マス

スル場合ト、三万圓ヲ以テ經營スル場合ト、其邊ノコトヲ一應伺シテ置キタイノデアリマス、大體此三ツニ分ケテ計算イタシテ居リマスルが、此何レノ場合ニ於キマシテモ此一万圓ノ場合ニ於キマシテモ、國庫ノ場合ニ於キマシテモ、三万圓ノ場合ニ於キマシテモ、約運轉資金ノ八十一パーセント」即チ八割ヲ常ニ運轉シ得ルモノト云フ豫想ノ下ニ計算イタシマスト、此年一割五分ノ利子ヲ以テ、而シテ國庫ヨリ借入レタ四分八厘ノ利子ヲ……貸付利子其他ノ收入ニ依リマシテ、公益質屋經營ノ爲メニ借入レマシタ運轉資金ノ元利ヲ償還シ得ル見込ノ計算ニ相成シテ居ル、而シテ之ヲ二十箇年ニ返済致シマシテ、元利ヲ償還イタシマスレバ、後ハ最早其資金ト云フモノハ別ニ生キテ參リマスカラ、其際ニハ經營ハモット樂ニナリマスカラ、低利資金ヲ償還イタシマスルヤウナ方法ガ執り得ルコトト考ヘマスシタ以後ニ於キマシテハ利子ヲモット低下スルヤウナ方法ガ執り得ルコトト考ヘマスシタハ矢張リ御役所風ニ總テ競争入札ト云フコトガ原則ニナシテ居ルヤウデアリマスガ、事實ニ於テ競争入札ト云フモノハ、此商人ガ何ト言ヒマスカラ……俗ニ云フ「ダンゴ」ニナシテハ競争入札ト云フコトガ如何ニモ正々云フコトデナシニ皆デ勉強シテ三十錢デ頂戴シテ行キマセウト云フヤウナコトガ實際多イノデゴザイマス、サウ云フヤウナ特別ノ事情ガゴザイマスカラ、法令上ニ於キマスルヨリモ非常ニ公明正大デアリマスケレドモ、唯今申上ダマシタヤウニ小口ノ雜品ヲ多量ニ販賣イタシマス時ニハ、競争入札ニ依シテハ到底目的ヲ達シマセヌガ故ニ、シバカリノ品物ニ對シテハサウ云フコトガラウト思ヒマスガ、所謂「特別ノ事情アル場合ハ」ト云フノハドウ云フ場合ヲ豫想シテデ次ノ但書……第二項ガ出來テ居ルノデヤテ之ヲ定ム」ト云フノハドウ云フ風ニ御定マス

云ヒマシタ所デ、此評價額ナルモノハ實ハ  
テ、鑑定人ノ考ヘニ依シテ、百圓ニ附ケ得ル  
場合モアルシ、八十圓ニ附ケ得ル場合モアル  
ト云フヤウナコトニモ相成リマスカラ、此  
規定ヲ設ケルト云フコトハ聊カドウデアラウ  
カト云フ考ヘガアリマシタコト、今一ツハ  
營利質屋ニ於テモサウデゴザイマスガ、此  
物質屋ハ全然對物貸付ダケト云フコトニ  
云ヒマスルケレドモ、或ハ多少對人信用モ  
アルノデアリマス、デ我ニガ持ツテ行キマシ  
タ物ガ十圓ノ値打シカナイト云フ場合デモ、  
此人間ハ確カナ人間ダ、決シテ流ス奴デハ  
ナイト云フ信用ガ質屋ニアリ、而シテ本人  
ガ是非十五圓ノ金ガ欲シイト云フ場合ニハ  
隨分十五圓デ貸付ケテ吳レル奴モアルノデ、  
此質置主ノ信用狀態ト云フモノハ逆モ皆  
サンニハ御分リナイト思ヒマスガ、利子ガ  
幾ラデアルトカ、流質期限ガドウデアルト  
カト云フコトガ頭ノ中ニ九分九厘マデハ占メテ居リ  
マス、從ヒマシテ質屋トシテハ、貸付ノ利子  
ハ頗ル少イノデアリマシテ、其時是非十五  
圓借リタイ、二十圓借リタイト云フヤウナ  
金額ガ頭ノ中ニ九分九厘マデハ占メテ居リ  
マス、從ヒマシテ質屋トシテハ、貸付ノ利子  
ガドウトカ、流質期限ガドウデアルトカ、  
期限ガ短カイトカ長イトカト云フコトヨリ  
モ、ドウモ金額ヲ貸シテ吳レルカ吳レナイ  
カト云フコトガ全部ヲ占メテ居リマスカラ  
ラ、質屋トシテハ、此客ガ其人ハ、信用出來ル  
モノニアレバ所要額ダケ貸付ケテヤレバ其  
質屋ハ評判ガ宜シイ、而シテ其者ハ確實ノ  
者デアッテ、元利揃ヘテ持シテ吳レバ、質屋ハ  
ノ高ク貸セバ利子モ高クナリマスカラ、損害  
ハナイ、トコロデソレヲ租ヒマシテ二三回  
ハサウ云フ風ニシテ、高イ金ヲ借りテ、質  
ヲ流シテ置イテ逃ゲルト云フ惡イ質置主モ  
ゴザイマス、ソレハ實際偽ラザル現代ノ狀

況デゴザイマスガ、公益質屋三於キマシテハ、公益の性質ヲ帶ビテ居リマスカラ、此前ノ委員會ニ於テ申上ダマシタヤウニ、其者ノ對人信用ト云フモノヲ考慮イタシマシテ、其者ハ市町村ノ吏員等が見テ非常ニ確實ナモノデアルト云フ場合ニハ、是ハ質屋ノ性質カラ云ヒマシテ、或ハ不穏當デアルト云フ御批評ガアルカハ存ジマセヌガ、或ル場合ニ於キマシテハ質物以上ノ所要金額ヲ貸付ケテヤルト云フコトモ私ハ取計ラッテ宜カラウト思ヒマス、從ヒマシテ唯今ノ規定ノ關係カラ見マシテ、評價格ノ七割トカ八割トカ云フ一定ノ標準ヲ設ケズシテ、是ハ公益質屋ヲ經營スル者ノ適當ナ裁量ニ依ツテ取計ラハセマシタ方ガ宜カラウト、斯ウ云フ考ヘカラ、法令ノ中ニ唯今ノ貸付金額ト評價額トノ割合ヲ規定イタシマセヌデアリマシタ譯デアリマス、併シ實例ヲ見マスト、大體ニ於キマシテ公益質屋三於キマシテハ評價額ノ八割乃至六割ト云フヤウナ點ガ貸付ノ標準ニ實際ハナツテ居ルヤウデゴザイマス

損失ニ歸シタ場合、ソレヲ埋メル所ノ質屋ノ唯一ノ方法アル所ノ、値高ク賣レタ時ニハ其利益分ダケハ當人ニ返シテヤルト云フコトガ規定シテアリマスカラ、其所等ヲ兩立サセテ行カウト思ヒマスト、大體ドレダケ以内、時價ノ何割ト云フヤウナ規定ヲ置ク必要ハアリマスマイカト思フノデアリマス、ソレカラ先刻サウ云フ規定ヲ置イテモ實行ハムツカシイト云フ御話デアリマシタケレドモ、併シ是ハ外ノ規定ヲ見マシテモ隨分アルコトデアリマシテ、現ニ特種銀行アタリノ不動産貸付ケニ付キマシテモ、評價ノ三分ノ二以上ハ貸シテハナラヌト云フヤウナ規定ガアリマシテ、ソレガ廣行サレテ居ルノデ、今ノ銀行ノ基礎ガ堅イト云フ事實モアルノデアリマス、唯今ノ長官ノ御答ヲ承リマスト、何カ其所ニ貸付ケニ付テハ評價額ノ幾ラト云フヤウナ制限ヲ置イテ置イタ方ガ、公益質屋ヲ經營シテ行ク上ニ安全デナイカト云フ考ヲ深クシタヤウナ譯デアリマスガ、其邊ノ御考ハ如何デゴザイマセウカ

云フコトガ、公益ノ元來粗テ居ル所ト考ヘ  
テ居ルノデアリマス、實ハ私モ何モ打明ケ  
テ申上ダマスト、是モ御指摘ニナリマシタ  
ヤウナ案ハ、内部省ノ部内ニモゴザイマシタ  
ノデ、其外色ニ、例ヘバ牛馬其他ノ生物ヲ質  
ニ取フテハイカヌトカ、或ハ腐敗シ易イ物ハ  
質ニ取フテハイカヌトカ、色ミ細カイ規定ヲ  
設ケルコトガ當時立案ノ際ニアリマシタ、  
ケレドモ私率直ニ考ヘマシテ餘リ官吏が自  
分ノ頭デ、何モ彼モ自分ノ思通リノ法令ヲ  
作ジテ、所謂重箱ノ隅ヲ楊子デホジクルヤ  
ウナ細カイ法令ヲ作フテ町村ニ強エルト云  
フコトハ、是ガ抑モ獨逸式ノ官僚主義ノ詰  
メ、唯今ノ牛馬其他ノ生物ヲ質ニ取フテハナ  
ラヌトカ、腐敗シ易イ物ヲ取フテハナラヌト  
カ、貸付額ハ是ダケ以内評價額ノ何割ト云  
フヤウナコトヲ決メルト云フコトハ、町村  
吏員ハ役人ヨリモ非常ニ愚ナ者デアルト云  
フ前提ノ下ニ考ヘレバ、イザ知ラズ、今日役  
人ト云フ者ハ偉イ者デモ何モモナシ、寧ロ  
人間トシテハ餘り能率ノ乏シイ者ガナッテ  
居ルヤウナ時代デアリマスカラ、役人ガ獨  
リ偉イト云フヤウナ考デ、餘リ町村ニ何デ  
モ彼デモ干渉シテ、此通り規則的ニ總テモ  
律シヤウト云フ劃一的ニ考ヘテ行クヨリ、  
或程度マデ町村長若クハ市町村吏員ノ常識  
ヲ信頼シテ、餘リ姑嫁ニ干渉スルヤウナ  
態度デ以テ細カイ規定ヲ置クコトハ止メタ  
ラドウカト云フノガ、一ツノ私ノ腹ノ底ノ  
又底ノ考デ、斯ンナ内輪詰マデ申上ゲルト  
ヤウナ考カラ私ハ規定ヲ簡單ニシテ、サウ  
云フコトハ或ハ公開ノ席上デハ不謹慎カモ  
存ジマセヌガ、率直ニ申上ゲルトサウ云フ  
ノ條例ナリ、規則ナリニ依フテ常識的ニ定メ

○小林嘉平治君 唯今規定ノ上ニ制限ヲ置カレヌト云フコトノ理由ハ能ク私ハ了解イタシマシタガ、併シ實際運用ノ上ニハ是ガ私營質屋ノヤウニ、其仕事ソノモノガ自己ノ計算ニナル時ニハ私ハサウ云フ規定ハ別ニ無クトモ適當ニ出來ルト思ヒマス、併ナガラ公益質屋ハ自己ノ計算ニ於テ仕事ヲセヌノデアリマスカラ、何カ其處ニ定規ヲ置イテ置クコトが必要デアリマセヌカ、又仕事ヲ執ル者ガ質ヲ置ク所ノ主ニ婦人トカ、又憐レナ境遇ニ在ルト云フ者ヲ眼前ニ置イテ泣キ付カレタ場合ニ一ソノ楯ニモナルコトデアリマス、私ハ其必要ハアルカト認メタノデアリマスガ、併シ長官ハソレノ規定ニ於テモ今規定ハ必要ハ無イガ、事實運用ノ上ニ經營スル自治體自身ガ何カソコニサウ云フ制限ヲ置イテ運用セネバナルマイト云フコトハ御認メニナルデセウナ

○政府委員(長岡隆一郎君) 是ハ恐ラクハ  
先程川村サンカラ御質問ノアリマシタ現行  
ノ質屋取締法ノ缺點ノツダラウト考ヘマ  
ス、現在私營質屋ヲ許シマス際ニハ、將來ハ  
別トシテ唯今マデハ警察官署ニ於キマシテ  
主ニ本人ノ人的要素ト云フ點ヲ考ヘノ中ニ  
入レテ居リマシタ、此奴ハ職物故買犯ノ前  
科ガアリハセヌカト云フコトヲ考ノ中ニ置  
イテ、ソレカラ其物ノ物的要素、完全ナ倉庫  
ヲ持ツテ居ルカト云フヤウナコトハ、從來ハ  
先ヅ許可ノ標準ノ中ニ餘リ入レテ居リマセ  
ヌヤウニ思ヒマス、是ハ恐ラク現行ノ質屋  
取締法ノ缺點カト思ヒマス、只ツ御断リ  
申上ダタイノハ現在只今倉庫其他ノ物的要  
素ト云フコトヲ質屋營業ノ許否ノ中ニ考ヘ  
ルト致シマシテモ、所謂轉質ナルモノハ自  
由自在ニアリマス、法ニ於テ……轉質ニ付  
テハ命令ヲ以テ制限スルコトガ出來ルトア  
リマスルケレドモ、轉質ヲ制限致シマスル  
命令ハ今日何ニモ出テ居リマセヌカラ、子  
質屋ト云フモノハ運轉資金ニ自ラ限りガア  
リマスルカラ、質置主カラ取りマシタ質物  
ヲ親質屋ノ所ニ持ツテ來マシテ、ソレカラソ  
コデ資金ノ融通ヲ受ケル、質物ヲ取りリマシ  
テ斯ウ云フ轉質ノ、枝道ガアルノデゴザイ  
マス故ニ、質屋ニ於テ保管方法ヲ喧シク言  
ヒマシテモ、質置主トシテハ轉質ニ對シテ  
苦情ヲ言フコトガ出來マセヌ、其質物ガ何  
ガアリマセヌ、從ヒマシテ此質置主トシマ  
シテハ、金錢ニ代へ難イ家ノ大事ナ品物デ  
アルト云フヤウナモノヲ或ハ燒カレ或ハ盜

マレ、或ハ洪水ニ依テ流サレタト言ツテモ竊入ヲスルヨリ外ハナイノデアリマス、是ハ此前誰方カノ御質問ニ對シテ御答ヘ申上アリマスルケレドモ、併シ大體ノ日本ノ全國ノ質屋ノ慣習ト致シマシテ、質札若クハ通帳或ハ店舗ノ掲示板ト云フヤウナ所ニ不可抗力ニ依ル場合ト雖モ質物ノ滅失、毀損、鼠喰蟲喰等ハ質屋ニ於テ一切責任ヲ負ハザルベク候ト云フコトガアリマシテ、斯ウ云フ契約ノ内容ニナッテ居ルカラ之ニ際シタ場合、質屋ハ自ラ責任ヲ負ハヌト云フコトニナッテ居リマスカラ、質置主ハ辯護士ニ頼シテ訴訟ヲ起シタト云フヤウナ例ハ殆ドアリマセヌ、是ハ少シ御咎ガ冗長ニ流レマシタガ、公益質屋ニ於キマシテハ其點ヲ考ヘマシタガ故ニ、火災ニ對シテノ危険等ノアル所ニ於キマシテハ、保管方法ニ付テ十分ノ考慮ヲ拂ツテ質置主ノ利益ヲ保護スル必要上倉庫ノ建築費等ニ付テ國庫ヨリ助成ヲ致シタイ、斯ウ云フ考デアリマス

○委員長（伯爵川村鐵太郎君） 別ニ御質問ハゴザイマセヌカ、ゴザイマセヌケレバ如何デセウ簡単ナ法案デアリマスカラ此際御意見ヲ：

○嘉納治五郎君 段々御質問ガアリマシテ政府當局カラノ御答モアリマシテ、大體是デ差支ナイト私ハ考ヘマスノデ、衆議院ノ修正通り此委員會ニ於テモ御決定ニナツテハ如何カト思ヒマス、私ハサウ云フ意見ヲ提出致シマス

○委員長（伯爵川村鐵太郎君） 嘉納君ノ御意見ニ御賛成アリマスルナラバ……

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○澤田喜彦君 私モ御同様賛成デアリマス

政府委員	委員長	伯爵川村鐵太郎君
	副委員長	男爵松岡 均平君
小林嘉平治君	嘉納治五郎君	
	川村 竹治君	
	宮田 光雄君	
澤田 喜彦君		

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 本案ハ左様  
可決イタシマスコトニ致シマス……本案ハ  
可決ト決シマシタ、左様御承知ヲ願ヒマス、  
是デ本會ハ閉デマス

昭和二年三月二十二日印刷

昭和二年三月二十二日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局